

# 第1学年国語科学習指導案

日 時 平成29年11月8日(水) 5校時  
児 童 男子 名 女子 名 計 名  
授業者

## 1 単元名 「くらべて よもう」

教材名 「じどう車くらべ」

## 2 言語活動とその特徴

本単元の言語活動として、自動車図鑑を作ることを位置付けた。説明文「じどう車くらべ」の読み取りをもとに本や図鑑から必要な情報を選び出し、それらの事柄の順序に気を付けて文章構成を考えて図鑑の1ページを作る。

## 3 単元について

### (1) 児童について

児童はこれまでに、「くちばし」の学習や「うみのかくれんぼ」の学習を通して、挿絵や写真と文章を対応させながら書かれていることの大体を読み取ることや、説明文の「問い」と「答え」の基本文型を学習してきた。また、興味をもった鳥や生き物について絵本や図鑑で調べ、基本文型を使って「〇〇くいず」や「かくれんぼカード」を作る活動もしてきた。

全体的に読み聞かせや読書が好きで、これまでの説明文での並行読書も楽しみながら行ってきたが、文章の読み取り方には個人差が大きく、自分の力だけでは大事な言葉や文を見つけることができない児童もいる。

### (2) 単元構想及び教材について

本単元「くらべてよもう」では、身近な自動車を取り上げて自動車図鑑を作る学習をする。教材文「じどう車くらべ」は問いの文が2つあり、それぞれの問いに対する答えが3種類の自動車ごとに書かれている。それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」が同じ順序で繰り返し説明され「そのために」という接続語で結び付いている。そのため、その順序や規則性に気付き、どのように構成されているか文章表現上の順序を捉えることに適した教材である。

### (3) 指導について

本単元は、身近にある自動車を取り上げていることから、児童の興味・関心が高まりやすいと考える。並行読書として、自動車に関する本や図鑑を教室に集め、いつでも読めるようにしたい。単元の導入では、教師が作った自動車図鑑を提示し、活動のゴールを意識して見通しをもって学習に取り組むようにしたい。

本文の読み取りでは、文章の構成を「しごと」と「つくり」で色分けして線を引かせたり抜き出したりする活動を繰り返す中で、本や図鑑でも自動車の「しごと」と「つくり」を自分で選び出せるようにしていきたい。また、文末表現や「そのために」という言葉にも着目させて捉えられるようにしたい。それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を対比することで、自動車の「しごと」と「つくり」の共通点を見つけたり、その「しごと」によって「つくり」が違っていることに気付いたりしながら内容を理解させたい。対比しながら読んでいくことで、それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」が同じ順序で繰り返し説明されていることが捉えやすくなり、どのように文章を構成しているかが分かりやすくなると考える。

#### 4 単元の指導目標

- 自動車について説明されている絵本や図鑑，文章などを読み，進んで調べようとしている。  
[国語への関心・意欲・態度]
- ◎ 知識を得るために，事柄の順序を考えながら内容の大体を読み，本や文章から大事な言葉や文を書き抜くことができる。  
[読むことイ・カ]
- 長音・拗音・促音などの表記や，句読点を正しく使って書くことができる。  
[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ（エ・オ）]

#### 5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・自動車について説明されている絵本や図鑑，文章などを読み，進んで調べようとしている。	・事柄の順序を考えながら読み，内容の大体を理解している。（イ） ・知識を得るために本や文章を選んで読んでいる。（カ）	・長音・拗音・促音などの表記や，句読点を正しく使って書くことができる。（イ（エ・オ））

## 7 本時の指導 (6/12)

### (1) 本時の目標

クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。

(読むこと (1) イ)

### (2) 本時の指導にあたって

視点1 「発問・指示」…前時で学習した自動車の「しごと」と「つくり」を確認してから、本時の「しごと」と「つくり」に着目させる発問をする。

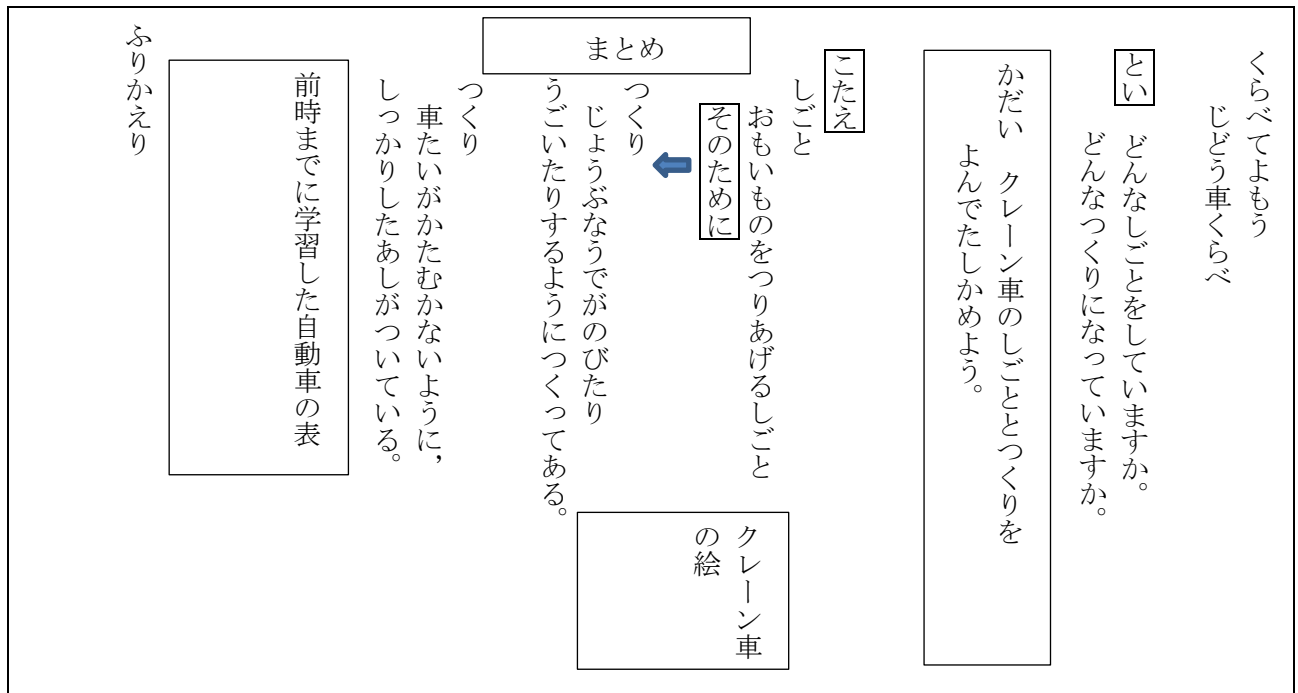
視点2 「振り返り」… 前時の文の構成と比べて分かったことや、本時で分かったクレーン車のすごいところを発表させる。

### (3) 本時の展開

時間	主な学習活動	主な発問 (主◎, 補助○) 指示 (・)	指導上の留意点(・) 評価 (◇)
5	1 前時の学習を想起する。  2 本時の学習課題を確認する。	○前の時間に学習したトラックの「しごと」と「つくり」を確かめましょう。 ○ (絵を見せて) 何の自動車ですか。	・挿絵と本文からトラックの「しごと」と「つくり」を想起させ、本時につなげる。 ・クレーン車の挿絵を提示し、本時の学習課題をつかませる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">クレーン車のしごととつくりをよんでたしかめよう。</div>			
2	3 学習場面を音読する。 ・一斉読み	・音読しましょう。	・「しごと」と「つくり」, 「そのために」の言葉に着目させる。
4	4 「しごと」と「つくり」にサイドラインを引く。	・クレーン車の「しごと」の文には赤い線, 「つくり」の文には青い線を引きましょう。	
6	5 「しごと」を読み取る。  ・「しごと」の内容を確認する。	◎クレーン車は, どんな「しごと」をする車だと書いてありますか。 ○重いものってどんなものですか。 ○吊り上げるってどうすることですか。	・挿絵と文を照応させたり, 動作化させたりすることで叙述に即した読みができるようにする。
6	6 「つくり」を読み取る。  ・「つくり」の内容を確認する。	◎クレーン車は, どんな「つくり」になっていると書いてありますか。 ○「のびたりうごいたり」するのはどこですか。 ○車体はどこですか。 ○「しごと」と「つくり」をつなぐ言葉は何でしょうか。	・模型で確認する。

10	<p>7 学習をまとめる。</p> <p><b>【交流】</b>  ねらい…クレーン車の「しごと」と「つくり」を見つけて確認するため。  形態…ペア  進め方…ペアで伝え合う。  C1:クレーン車は、重い物を吊り上げる仕事をしています。  C2:丈夫な腕が伸びたり動いたりするように作ってあります。  しっかりした脚がついています。  広げ方…代表が全体に発表する。</p>	<p>○クレーン車の「しごと」と「つくり」を抜き出してまとめましょう。</p>	<p>◇[読イ]本文や挿絵からクレーン車の「しごと」と「つくり」を正しく読み取っている。</p> <p><b>【配慮の必要な児童への支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「～するしごとをしています。」や「そのために～あります。」というキーワードに着目させ気付かせる。</li> </ul>
5	<p>8 前時までに学習した自動車と比べる。</p>	<p>○これまで学習した自動車はどんな順序で説明されていましたか。  ○どうして、これらの自動車は「つくり」が違うのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表を提示して比べ易くし、文章構成が同じであることに気付かせる。模型や表から自動車は仕事によって作りが違うことに気付かせる。</li> </ul>
7	<p>9 振り返りをする。</p> <p>10 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>○振り返りをします。  クレーン車の「しごと」と「つくり」と文の順序が分かったか自己評価しましょう。  <b>【分かったことを発表しましょう。】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クレーン車のすごいところ</li> <li>・文の順序</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートにクレーン車の「しごと」と「つくり」と文の順序が分かったか自己評価させる。</li> <li>・はしご車の「しごと」や「つくり」について考えることを伝える。</li> </ul>

## 8 板書計画





6 単元の指導計画 (全12時間扱い)

【指導目標】 ○自動車について説明されている絵本や図鑑，文章などを読み，進んで調べようとしている。 [関心・意欲・態度] ◎知識を得るために，事柄の順序を考えながら内容の大体を読み，本や文章から大事な言葉や文を書き抜くことができる。[読むことイ・カ] ○長音・拗音・促音などの表記や，句読点を正しく使って書くことができる。 [伝国イ(エ)(オ)]	展開	第1次 単元の導入		第2次 単元の展開			第3次 単元のまとめ		
		1・2	3	4・5・6 (本時)	7	8	9・10	11・12	
【指導方法の工夫】 <b>焦点化</b> ○「しごと」と「つくり」に着目させる。 <b>視覚化</b> ○挿絵や写真を拡大したものや模型を活用する。 ○基本文型を色分けして示す。 <b>交流</b> ○ペアで交流することで自分の考えをもち，読み取りや文の順序を確かめる。	目標 [指導事項]	自動車にはさまざまな種類があることに気づき，学習の見通しをもととする。 [関心・意欲・態度]	「じどう車くらべ」を読み，内容の大体を読み取ることができる。 [読(1)イ]	それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を捉え，「そのために」という言葉の役割を理解することができる。 [読(1)イ・カ]	挿絵や，自分の知識などを基に，はしご車の「しごと」と「つくり」を捉えることができる。 [読(1)イ・カ]	実際の自動車の本や図鑑から「しごと」と「つくり」のを見つけ方を考える。 [読(1)カ]	好きな自動車の絵本や図鑑から，「しごと」と「つくり」を選んで読むことができる。 [読(1)カ]	好きな自動車の「しごと」と「つくり」を書いた図鑑を読み，発表し合っている。 [関心・意欲・態度] [伝国イ(エ)(オ)]	
		学習課題	がくしゅうのみとおしをもと。	どんなおはなしかたしめながらよみ，かんそうをはなしあおう。	じどう車のしごととつくりについてよんでたしかめよう。	はしご車のしごととつくりをかんがえよう。	じどう車のほんやずかんから「しごと」と「つくり」をみつけよう。	すきなじどう車のほんをよんで，じどう車カードをつくらう。	じどう車カードをかいいて，じどう車ずかんをつくらう。
【単元を貫く言語活動】 好きな自動車の絵本や図鑑を読み，「しごと」と「つくり」を調べて書くための材料を集めて自動車図鑑を作る。 ※参考 [読 言語活動例(ウ)]	本時の展開 (主な発問・指示)	1 どんな自動車を知っていますか。	1 問いはいくつありますか。	1 (絵を見せて) 何の自動車ですか。	1 (絵を見せて) 何の自動車ですか。	1 (図鑑の絵を見せて) 何の自動車ですか。	1 ④すきなじどう車のほんをよんで，じどう車カードをつくらう。	1 ④じどう車カードをかいいて，じどう車ずかんをつくりましょう。	
		2 先生の作った自動車図鑑を見てみましょう。どんなことが書かれていますでしょうか。	2 どんな自動車について書いてありましたか。※自動車…バス，乗用車，トラック，クレーン車	2 ④自動車の「しごと」と「つくり」について読んで確かめましょう。	2 ④はしご車の「しごと」と「つくり」をみんなで考えて書きましょう。	2 ④ほんやずかんから「しごと」と「つくり」をみつけましょう。	2 ④ほんやずかんから「しごと」と「つくり」をみつけましょう。	2 じどう車カードに書くことを確かめましょう。	2 選んだ自動車の「しごと」と「つくり」を「そのために」でつないで文を書きましよう。
【図書資料】 ・『はたらくじどう車』 (小峰書店：編集部) ・『のりものの本』 (講談社：和田由起夫) ・『こどもずかん』 (ポプラ社：松沢正二)	交流のねらい	3 「じどう車くらべ」の学習の計画を確かめましよう。	3 「くらべてよもう」は何をくらべているのでしょうか。	3 「しごと」の文を赤，「つくり」の文を青で線をひきましょう。	3 はしご車は，どんなしごとをしていますか。	3 どんな「しごと」をしていますか。 ・どこからわかりますか。	3 好きな自動車の「しごと」と「つくり」を探して読みましよう。	3 「つくり」がよく分かるように，絵を描きましよう。	
		4 知っている自動車のすごいところを話し合い，自動車図鑑作りに向けて関心をもたせる。 <ペア→全体>	4 知っていたこと，初めて知ったこと，驚いたことなどはありませんか。	4 「しごと」と「つくり」をつなぐ言葉は何でしょうか。	4 はしご車は，どんなつくりになっていますか。	4 どんな「つくり」になっていますか。 ・どこからわかりますか。	4 選んだ自動車がどんな「しごと」と「つくり」をしているのか分かるところに付箋を貼りましよう。	4 表紙を付けて完成させましよう。	4 友達と交換して読み合いカードに感想を書きましよう。
		4 振り返りをします。これからの学習の進め方が分かりましたか。自己評価ましよう。	5 振り返りをします。お話の大体が分かったか自己評価ましよう。分かったこと・友達の感想を聞いて思ったことを発表ましよう。	6 振り返りをします。自動車の「しごと」と「つくり」，分かったか自己評価ましよう。今日，分かったことを発表ましよう。 ・文の順序 ・自動車のすごいところ	7 振り返りをします。はしご車の「しごと」と「つくり」が分かったか自己評価ましよう。今日，分かったことを発表ましよう。	6 振り返りをします。本や図鑑から，「しごと」と「つくり」を見つけることができたか自己評価ましよう。分かったこと・友達の説明の良かったところを発表ましよう。	5 振り返りをします。好きな自動車の「しごと」と「つくり」を見つけられたか自己評価ましよう。分かったこと・友達の説明の良かったところを発表ましよう。	6 振り返りをします。自動車図鑑に「しごと」と「つくり」を入れて書くことができたか自己評価ましよう。自動車図鑑を交換して読んだことで「初めて知ったこと」や「自分と同じところ」を発表ましよう。	